

1 提案者 中村優希（東春近小学校）

D小理 2

2 指導内容

(1) 単元名

4 学年「人の体のつくりと運動」

(2) 利用した番組名（クリップ動画を使用）

「うでのつけ根の中は…」 「あしのつけ根の中は…」 「うでの中を予想しよう…」

「人の体を見てみると…」 「人のひじの中は…」 「体を動かすことができるのは？」

(3) 授業のねらい

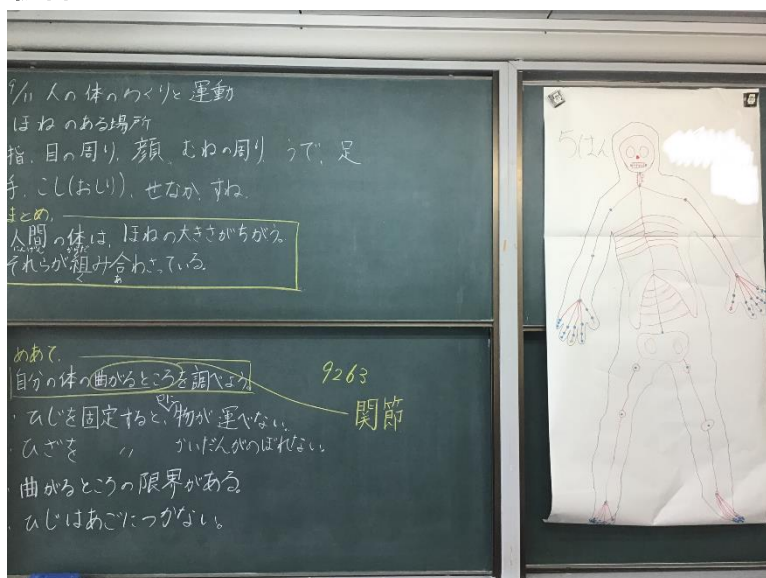
自身の体の骨の様子を調べてきた子どもたちが、自分の体を動かしたり関節についての動画を視聴したりすることを通して、自分の体はどのように曲がるかを知り、関節の部分で曲がることを知る。

(4) 授業の実践記録（全7時中の第3時）

段階	学習活動	児童の様子	指導・助言	備考
導入 (10分)	1 前時で分かったことを、全身図をもとに確認する（骨のある位置）。	・体の中にはたくさんの骨があることがわかりました。 ・骨には、大きさが違うものがあることがわかりました。	・骨はどのような場所にあったか確認し、それらがどのように動いているか関心を持たせる。	学習帳
	学習問題：自分の体は、どこが曲がるだろうか。			
	2 予想する。	・腕や脚の付け根が曲がるから、自分の曲がるところをよく見てみよう。		
	学習課題：体のどの部分が曲がるか調べよう。			
展開 (30分)	3 自分の体の曲がるところを、前時に使用した全身図に書き込ませる。	・骨とは違うところが曲がるんだね。 ・指先も曲がるから、シールを貼っておこう。	・前時で使用した、全身図へ、体が曲がったり回ったりするところは印（シール）を貼らせる。	全身図
	4 自身の体曲げたり、動画視聴をしたりして、体の曲がるところや動き方を確認する。	・腕は反対側に曲がらないし、曲げようすると痛いね。 ・首や肩はグルグル回るね。これは曲がっているのかな。 ・腕を曲げると、腕の中はこんな風になっているんだね。 ・膝が曲がらないとうまく歩けないね。 ・動画で見ると内部が詳しくわかるね。	・クリップ動画を視聴しながら、関節について学習帳へまとめていけるようにする。 ・プレイリストを作成し、教師が選んだクリップ動画が見られるようにする。 ・タブレットを一人一台用意し、繰り返し動画を見られるようにする。	タブレット

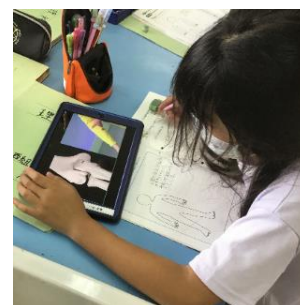
まとめ (5分)	5 関節についてわかったことを、図や言葉でまとめる。	- 骨と骨のつなぎ目が曲がることが分かりました。 - 関節がないところは曲がることができないんだね。	- 体が曲がる場所は、関節ということを押さえる。 - 関節がないと運動がしにくいことを体感させる。	学習帳
-------------	----------------------------	---	--	-----

板書



(5) 考察

- 1本の番組では時間がかかってしまうため、クリップを自分で選んで視聴させた。自分のタイミングで再生・停止ができたのはよかった。
- プレイリストを作成したことは、子どもが動画を選ぶ時間を短縮でき、スムーズに視聴が進められた。



- 関節の内部を見ることができない単元であったため、動画内のレントゲンの映像は実際の仕組みを理解するうえで、とても有効であった。

△1人一台で動画を視聴したため、お互いの関わりが生まれず、残念だった。2人で一台のようにすれば、対話も生まれ、学びが深まったと考える。また、視聴に一生懸命になってしまったため、まとめや記入がおろそかになってしまった。

(6) 番組への要望

- 再生速度を変更できれば、よく見たいところやゆっくりメモしたいところの確認できる。